学校名 美里町立東児玉小学校

所在地 児玉郡美里町阿那志13

電 話 0495-76-0335

1 本校の概要

本校は、県北西部に位置し、遠くに上毛三山が見渡せる緑豊かな田園地帯の中央に立地している。児童数 255 名の中規模校である。地域との結び付きが強く、読書活動における関わりをはじめ、登下校の見守りや米作り等、様々な場面において、地域の方に子供たちの教育活動を応援していただいている。

2 本校の実践

- (1) 実践の視点
 - ・読書に親しむ態度や読書習慣にかかわる取組
 - 学校図書館の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書年間目標の設定 低学年120冊、中学年 7000ページ、高学年8000ページを年間目標とし、読 書後、カードに記録させた。 また、今年度より学期ごと の目標も設定し、達成した 児童名を掲示し、意欲付け

【図書室前の掲示】



を図った。年間を通して読書活動に意欲的に取り組 んだ児童を町に報告し、読書表彰を行っている。

イ 学校図書館の環境整備

● 図書委員会による季節の本の紹介コーナー



【6月】 梅雨に関する

本を紹介

読書感想文の掲示 優秀な読書感想文作 品を放送で紹介した 後、図書室前に掲示 し、手に取れるよう



にした。
ウ 町の図書館との連携



10月と1月に町の図書館から100冊の本をお借りし、学級文庫として活用している。来年度は毎月貸し出しの予定である。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 年間の読書目標を設定することで、読書の習慣が身に付いた児童もいた。学期ごとの目標を設定することで、年間目標達成への見通しをもつことができ、昨年度よりも年間目標達成者が3割程度増加した。

- イ 図書委員会の児童が楽しみながら、季節のコーナーを作っていた。紹介コーナーを作ることで、 様々な種類の本に興味をもつ児童もいた。
- ウ 町立図書館で学年の学習内容にあった本を選ん でいただいたので児童はとても興味をもってい た。給食を食べ終わった後の時間等、隙間時間にも 進んで読書する姿が見られた。

(2) 課題

読書が好きな児童と苦手な児童で取組に差がある。 苦手な児童にも本が好きになってもらえるように働き かけたり、学年に合った内容の本を紹介したりする等 の手立てを考える必要がある。

(3) おわりに

これからも読書環境を整え、読書への関心や意欲を 高めていきたい。